

令和3年度 高速増殖原型炉もんじゅ総合防災訓練における課題対応について

1. 概要

令和3年12月14日に実施した訓練の結果を踏まえ、課題を抽出し、対策の検討を行った。検討結果の概要は以下のとおり。

No	抽出した課題	区分	対策	抽出元
1	複数の事象が発生している場面で、軽重に応じた発話ができている。	情報共有 (情報の重要度)	・統括者の役割の明確化	NRA 助言
2	発生事象に対する戦略を説明する際、2の矢3の矢がどう進むのか、全体像が示せていない。	情報共有 (戦略の説明)	・事象に対する全体的な戦略の説明のルール化 ・災害対策資料の見直し	NRA 助言
3	FAXに補足説明図面として添付した災害対策資料(カラーの資料)は、FAX送付した際につぶれて黒塗りのようになり判別できない箇所があった。	通報連絡	・災害対策資料の見直し	モニタコメント

2. 検討の詳細

<No. 1>

【問題点】

- ・即応センターからERCへの情報提供において、使用済燃料貯蔵槽(燃料池)の漏洩対策の説明を求められている中で中央制御室の火災対策を説明しようとするなど、優先すべき情報の選別ができている場面があった。

【課題】

- ・複数の事象が発生している場面で、軽重に応じた発話ができている。

【原因】

- ・情報整理担当者がERCへ提供すべき情報に優先順位を付けた上で発話者へ提供するルールとしていたが、事象が重畳する中で情報が断片化しないように一連の情報となるよう整理することに傾注するあまり、情報の重要度を俯瞰することまでできなかった。

【対策】

- ・情報整理担当者をサポートできるよう、統括者の役割として、ERCへ提供すべき情報の重要度・順位の指揮を必要に応じて要員に指示することを付加する。

<No. 2>

【問題点】

- ・即応センターからERCへの情報提供において、使用済燃料貯蔵槽（燃料池）からの冷却水の漏洩対策である“止める手段”の実施状況の提供に傾注し、“給水手段”の実施状況を含めた全体的な戦略の進捗が説明できていない場面があった。

【課題】

- ・発生事象に対する戦略を説明する際、2の矢3の矢がどう進むのか、全体像が示せていない。

【原因】

- ①即応センターからERCへの情報提供において、事象に対する全体的な戦略を説明せずに、実施を進めている個別の戦略の内容を説明し始めた。
- ②災害対策資料中の事象進展対策シートに、事象に対して講じるべき戦略及び優先順位を整理しているが、ページが複数に渡り分かれており、相手にとっても見づらく説明する側も伝えづらかった（戦略全体を一目で分かるように整理した資料が無かった）。

【対策】

- ①即応センターからERCに対して戦略の説明を実施する際、まず事象に対する全体的な戦略を示した上で個別の戦略の内容を説明することをルール化する。
- ②災害対策資料に対策の全体（2の矢3の矢含む）を示す一覧表、又はポンチ絵などを加え、全体的な戦略をより簡潔簡便に伝えやすいツールとする。

<No. 3>

【問題点】

- ・第2報及び第3報の「警戒事態該当事象発生後の経過連絡様式」、第9報の「応急措置の概要報告様式（原子炉施設）」に添付しFAX送付した補足説明図面は、FAXを受信した側からみると視認できない箇所があった。

【課題】

- ・FAXに補足説明図面として添付した災害対策資料（カラーの資料）は、FAX送付した際につぶれて黒塗りのようになり判読できない箇所があった。

【原因】

- ・災害対策資料の図において、FAX送付で白黒になることを前提とした配色にしていなかった。

【対策】

- ・白黒で印刷・FAXしても視認できるような塗りつぶしや網掛けを使って災害対策資料の図を作成する。

3. その他
(もんじゅ)

No.	課題区分	課題	原因	対策	抽出元
1	COP	現地対策本部の説明では、書画装置でどのCOPシートを使用して説明しているのか分かりづらい。	ページ番号が小さくて見づらかった。	ページ下部中央にページ番号を大きく表示するよう見直す。	NRA 助言 プレイヤーアンケート
2	COP	発生事象が増えるほど机上のCOPシートが増え該当頁を探すのに時間を要することになる。	紙媒体でCOPシートに情報を整理しているため。	電子媒体でのCOPシートの共有の可否を検討する。	NRA 助言 プレイヤーアンケート
3	通報連絡	現地対策本部は、通算第5報において「警戒事態該当事象発生連絡」と「警戒事態該当事象発生後の経過連絡」を同時にFAX送付していた。	「警戒事態該当事象発生連絡」は他の様式と一緒にFAX送付しないことをルール化していなかった。	「通報文作成手引き」の「警戒事態該当事象発生連絡様式」用のチェックシートに、「本様式以外の様式と一緒にFAX送付しないこと」を明記する。	NRA 助言
4	情報共有	現地対策本部は、ERSSのMP等の線量率測定結果について、線量が高い局とその他の局の関係を説明しなかった。また、トレンドがオーバースケールした際に、スケールを変更し全体が映るようにしなかった。	現地対策本部は、MP等の放射線量率測定結果について、高い局の数値の共有のみに終始してしまった。	オーバースケールする場合は、スケール調整して全体像を映す、他のMP等の数値について全体の関係性を簡潔に共有するなど、よりERSSの情報を意識した情報共有ができるよう訓練を通じて習熟を図る。	NRA 助言
5	意思決定	現地対策本部は、各班長等から対応案を検討・報告し、他班の意見もふまえ最終的に本部長が決定するといった組織的な対応ができていなかった。	現地対策本部は、ほぼ全ての事項について本部長が各班長等から報告を受け即断し各班長に対して指示をしていた。	各班長が対応案を検討・報告し本部長が決定する組織的な意思決定のプロセスとするため、今後は本部長が班長の意見を聞いてから指示を出すこととし、それを意識した訓練を実施する。	NRA 助言 モニタコメント

(機構本部)

No.	課題区分	課題	原因	対策	抽出元
1	情報提供	ERC ブースの発話者について、名称の発話の誤りが数回あった。	事象が重畳する中で提供すべき情報が多く、早口で発話せざるを得なかったため。	引き続き訓練を通じて、冷静な発話ができるよう発話者としての能力向上を図るとともに、誤った発話をした場合は周りのサポートで即座に訂正ができる体制を確認していく。	NRA 助言
2	時系列	本部活動（機構対策本部設置時刻など）がPC時系列上に記載していなかった。	時系列に記載するべきポイントを整理していたが、本部活動についてはそのポイントから抜けていた。	機構対策本部設置時刻など本部活動についても漏らさずPC時系列に記載するよう、時系列に記載するべきポイントに追加する。	モニタコメント

以上